

春休み、私は妹たちの卒業旅行で、家族みんなで沖繩に行きました。沖繩に行くのは初めてだったので、飛行機から見た沖繩の海におどろき、感動しました。すんだとうめいな色をしているところもあれば、水色や緑色にキラキラ光っているところもあり、今まで私が見てきたどの海よりも一番きれいでした。観光がとても楽しみになりました。

沖繩につき、最初に行く観光地は美ら海水族館でした。私がとても楽しみにしていたところです。さまざまな魚を鑑賞し、まんきつして帰ろうとしたとき、ある一つの展示が目に入りました。

人間が海に捨てたごみを飲みこみ、死んでしまった魚の胃です。その胃の中には、おかしの袋やネット、たばこの箱など、多種多様なごみがありました。人間がそこら中に捨てたごみが原因で、たくさん魚死んでしまう。そのことは知っていましたが、いざそれを実際に見ると、すごく悲しく、ショックでした。ですが、生きて水そうの中を泳いでいる魚たちや、模型などを見て、本当にこのようなことが世界で起きている、この現状を変えなければならぬ、という気持ちになりました。

次の日、私は海にシュノーケリングをしに行きました。専属のインストラクターさんがつき、海にもぐって魚の観察をします。私は昨日のことを思い出し、どれくらいごみが落ちているのか心配になりながら向かいました。

しかし、砂浜の上に海の中にも、ごみは一つもありませんでした。美しい水と魚だけでした。飛行機からの景色そのままです。安心し砂浜に帰ると、インストラクターさんがひろったごみをごみ箱に入れているのを見ました。どれも小さいごみばかりでした。通行人もちゃんとごみを捨てています。

ここで、私は沖繩の人たちのごみ捨ての意識が高いことに気づきました

た。確かに、ポイ捨てを注意する看板やごみ箱が多かったように感じます。それに、海の近くにはテイクアウトできるような店がたくさんあり、ポイ捨ても起こりそうですが何も落ちていないです。きっと、もし落ちていたとしても、インストラクターさんのように、ひろって捨ててくれる人が、多いんだと思います。

沖繩の海のきれいな背景には、過去あったごみの問題を反省し、たくさんの方がごみ捨ての意識を改め、海を守るという県民の決意があると分かりました。

沖繩の旅行を通して、知識だけだった海とごみの問題について考えることができました。知識として知るだけではなく、沖繩の人たちのように、みんなが少しずつでも意識して行動に移すことが大事だと分かりました。まだまだ先は長いと思いますが、どの海もきれいするために、私もごみを見つけたら捨てる、ポイ捨ては絶対に行わない、など、小さなことから努力していきたいです。他人事とは思わずに、海、魚を守るという意識を持ち、これからは行動します。